

# 一般社団法人 日本静脈経腸栄養学会

## 2019年度 事業報告書

### I. 事業期間

2019年1月1日～12月31日

### II. 事業実施方針

2020年1月1日からの学会名称の変更(一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会へ学会名称変更)に向けて、関係省庁や日本医学会をはじめとした関係学術団体への広報と説明を行った。学術活動としては代謝および栄養学の進歩普及に貢献するために、第34回学術集会、各種セミナー(NST専門療法士受験必須セミナー、NST専門療法士更新必須セミナー、NSTベーシックコース(トレーニングセミナーの後継事業))、LLL(Life Long Learning)ライブコース、JSPEN栄養マスターコースなどを開催した。また、従来の機関誌発行のほか、新規事業 e-journal「学会誌JSPEN」を創刊し、年4号を発行した。認定事業では、従来のNST専門療法士、認定医・指導医・認定歯科医認定制度に関する事業に加えて、新資格制度としてNST専門療法士の上級資格となる「臨床栄養代謝専門療法士認定制度」を発足し、暫定申請の受付と審査を実施した。専門療法士認定制度では、NST認定教育施設の新規認定および認定期間更新を実施した。NST施設認定制度では、NST稼働施設の新規認定および認定期間更新を実施した。組織体制については、各種委員会などの再編成を行った。33の各種委員会は、outcome重視の体制である18委員会、8Working Group(WG)、9Working Team(WT)、3プロジェクト(P)として再編成を行った。臨床栄養推進事業に関しては、ガイドライン委員会の他、新委員会として、臨床栄養コンセンサス検討委員会を設置し、実務チームとして9領域(上述)のWTが臨床現場に役立つJSPEN独自の“コンセンサス”の制作を進めた。JSPEN支部活動については、10支部を8支部体制へ再編成し、各支部の協力のもと学会本体と軸を同じくしてより有機的活動ができる土台づくりを行った。

### III. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

#### (1) 会員の研究発表会、学術講演会等の開催事業

##### ① 事業名：学術集会開催事業

- ・ 内容；第34回学術集会を開催し、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学術的研究の発表を行った。
- ・ 実施場所；品川(グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール・グランドプリンスホテル高輪・TKPガーデンシティ品川)
- ・ 実施日時；2019年2月14日～15日
- ・ 対象者；会員および非会員

##### ② 事業名：学術集会支援事業(学術集会実践支援委員会)

- ・ 内容；学術集会・支部学術集会の在り方、学術集会における国内外の学術団体との連携の在り方を検討した。

- 1) 学術集会と支部学術集会の運営について
- 2) 他学会との合同シンポジウムについて
- 3) 各アワードの選考基準の再確認と賞牌、副賞金額の再確認について
- 4) 学術集会・支部学術集会関連会計指針について
- 5) 学術集会演題募集におけるIRBIに関する対応方針について
- 6) 学術集会開催候補地について

- ・実施日時；①2019年2月15日、②7月20日、③2020年1月4日、④2月7日、⑤メール審議
- ・実施場所；①品川(グランドプリンスホテル新高輪)、②大阪(TKP新大阪駅前カンファレンスセンター)、③大阪(ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター)、④AP東京八重洲通り、⑤随時
- ・対象者；委員会委員

③事業名：各支部例会開催事業(10支部)(支部統括委員会)

- ・内容；各支部にて地方会を開催し、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学際的かつ学術的研究の発表を行った。
- ・実施場所および日時；
  - 北海道 第12回北海道支部例会：札幌 2019年6月1日  
当番世話人；荒川朋子(札幌医科大学病院栄養管理センター)
  - 東北 第34回東北静脈経腸栄養研究会：秋田 2019年12月14日  
当番世話人；古屋智規(秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系救急・集中治療医学講座)
  - 関東甲信越 第7回関東甲信越支部学術集会：新潟 2019年9月29日  
当番会長；小山 諭(新潟大学大学院保健学研究科)
  - 首都圏 第11回首都圏支部学術集会：横浜 2019年5月18日  
会長；林 宏行(日本大学薬学部薬物治療学研究室／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 NST 顧問)
  - 東海 第13回東海支部学術集会：名古屋 2019年7月27日  
当番世話人；祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野)
  - 北陸 第10回北陸支部会例会：石川 2019年8月24日  
当番世話人；石井 要(公立松任石川中央病院外科)
  - 近畿 第11回近畿支部学術集会：大阪 2019年6月29日  
当番会長；山中英治(若草第一病院)
  - 中国 第12回中国支部学術集会：山口 2019年8月10日  
会長；内田耕一(山口県立大学看護栄養学部栄養学科/大学院健康福祉学研究科)
  - 四国 第11回四国支部会学術集会：高松 2019年10月26日  
当番会長；野田さおり(KKR 高松病院看護部)
  - 九州 第11回九州支部学術集会：福岡 2019年11月30日  
当番世話人；石橋生哉(公立八女総合病院外科)
- ・対象者；会員および非会員

## (2) 機関誌、論文図書等の刊行事業

### ① 事業名：e-journal『学会誌JSPEN』の発行に関する事業

- ・ 内 容；2019年度からの新規事業として、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学術論文をe-journal『学会誌JSPEN』にて発表した。
- ・ 実施場所；学会ホームページ マイページ内にて公開、6ヶ月後にJ-STAGE 上で公開
- ・ 実施日時；『学会誌JSPEN』は年6回発行(Supplement含む)  
Vol. 1 No. 1~No. 4(2月、4月、8月、12月)  
Vol. 1 Supplement1 第34回学術集会プログラム抄録集  
Vol. 1 Supplement2 学会の認める地方会・研究会抄録集
- ・ 対象者；会員および非会員

### ② 事業名：学会誌『日本静脈経腸栄養学会雑誌』の発行に関する事業

- ・ 内 容；静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する特集を『日本静脈経腸栄養学会雑誌』に掲載した。なお、本誌は2019年12月(第34巻5号)をもって刊行を終了した。
- ・ 実施場所；『日本静脈経腸栄養学会雑誌』、J-STAGE 上
- ・ 実施日時；『日本静脈経腸栄養学会雑誌』は年5回発行
- ・ 対象者；会員および非会員

### ③ 事業名：e-journal『学会誌JSPEN』、『日本静脈経腸栄養学会雑誌』編集に関する事業

- ・ 内 容；静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する研究論文を査読し、機関誌の編集を行った。
- ・ 実施場所；①第1回：品川(グランドプリンスホテル新高輪)  
②第2回：東京(学会事務局)
- ・ 実施日時；①第1回：2019年2月13日、②第2回：2019年8月25日
- ・ 対象者；委員会全員、随時(オンライン投稿審査システム(Editorial Manager®))

### ④ 事業名：国際英文誌ジャーナルの購読に関する事業

- ・ 内 容；医学系出版社KARGER(カルガー)社発行の国際英文誌ジャーナル「ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM」を英文誌のオフィシャルジャーナルとして提携し、会員向けのオンライン購読のサービスを行った。
- ・ 実施場所；学会ホームページ 会員マイページより閲覧
- ・ 対象者；会員

## (3) 内外の関係学術団体との連絡および提携

### ① 事業名：国際交流に関する事業(国際委員会)

- ・ 内 容；日本の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連して、国際社会(ESPEN、ASPEN、PENZA)に向けた情報交換を通して本学会の活動のレベルアップを図るとともに、当該領域の国際的情報について会員への提供を行った。さらに、ESPEN(Council Meetingを含む)、ASPEN(JSPEN-ASPEN Leadership Meetingを含む)、PENZA(Executive Meetingを含む)への参加を行った。

- ・実施場所；①ESPEN Council Meeting：ニース(フランス)、②品川(グランドプリンスホテル新高輪)、③ASPEN(Clinical Nutrition Week)：フェニックス, アリゾナ(USA)、④PENSA：香港(中国)、⑤ESPEN2019：クラクフ(ポーランド)
- ・実施日時；①2019年1月11日～13日、②2019年2月15日(委員会)、③2019年3月23日～26日、④2019年10月8日～10日、⑤2019年8月31日～9月3日
- ・対象者；会員、①～⑤(③を除く)会員、③委員会委員

②事業名：日本医学会総会2019中部分科会における展示発表(広報WG)

- ・内容；本学会の目的、世界最大の会員数をもつ栄養の学会としての社会への貢献、NST活動の普及、各職種への教育活動、学術雑誌の刊行などにつき、ポスター展示を行った。
- ・実施場所；名古屋(名古屋国際会議場)
- ・実施日時；2019年4月27日～29日
- ・対象者；日本医学会総会参加者

(4)栄養学に関する研究および調査

①事業名：在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築事業(REDCapプロジェクト)

- ・内容；在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築のため、倫理委員会審査を経た会員の各施設を対象に在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料算定患者のデータを集積する。データの集積は、REDCapシステムを利用するため、9月1日に大阪市立大学医学部付属病院と研究支援契約を締結した。契約締結後REDCapシステムを利用開始し、WEB調査票を構築した。
- ・実施場所；①AP日本橋、②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①2019年11月10日(説明会)、②2019年6月30日、8月17日(委員会)
- ・対象者；①会員所属施設、②プロジェクトメンバー

②事業名：臨床研究推進事業(誤接続防止対策プロジェクト)

- ・内容；1)新経腸栄養コネクタ IS080369-3の情報提供と導入方法に向けての、会員への情報提供と導入方法の紹介を行った。  
2)PMDAの要請を受けて当会主催の教育セミナーおよび支部学術集会において周知活動を行った。
- ・実施場所；1)①各会員施設、②第34回学術集会教育講演：品川(グランドプリンスホテル新高輪)、③品川(グランドプリンスホテル新高輪)  
2)①NST専門療法士受験必須セミナー、②NST専門療法士更新必須セミナー、③NSTベーシックコース、④JSPEN支部学術集会会場
- ・実施日時；1)①随時、②2019年2月14日(教育講演)、③2019年2月15日(委員会)  
2)①第2回2019年5月18日・19日、第3回6月22日・23日、第4回9月21日・22日  
②第2回2019年4月28日、第3回5月19日、第4回10月20日、③11月17日  
④各支部例会開催事業参照(首都圏支部会以降の支部学術集会で広報活動)

- ・対象者；1)①会員施設、②委員会委員  
2)①③④会員・非会員、②会員

③事業名：新経腸栄養コネクタ情報提供事業(誤接続防止対策プロジェクト)

- ・内容；新経腸栄養コネクタIS080369-3の研究報告と論文化
  - 1)半固形化栄養剤注入における新誤接続防止コネクタ(IS080369-3)のユーザビリティ評価ーヒトによる官能評価試験ー、学会誌JSPEN 1(2):98-103, 2019
  - 2)ミキサー食における新誤接続防止コネクタ(IS080369-3)のユーザビリティ評価ーヒトによる官能評価試験ー、学会誌JSPEN 1(4):310-316, 2019
- ・実施場所；1)プロジェクトメンバー  
2)プロジェクトメンバー
- ・実施日時；1)2019年4月25日発行；学会誌JSPEN Vol.1 No.2  
2)2019年12月13日発行；学会誌JSPEN Vol.1 No.4
- ・対象者；1)2)会員

④事業名：nutritionDayプロジェクト参加推進事業(国際委員会 nutritionDay WG)

- ・内容；ESPENによる入院患者の栄養状態を把握する国際的なアンケート調査であるnutritionDayプロジェクト(2019年11月7日)に日本国内の施設も参加した。ESPENの際に開催されるnutritionDay National coordinators meetingに出席し、参加各国との交流および情報交換を行った。
- ・実施場所；①会員施設、②品川(グランドプリンスホテル新高輪)、③ESPEN2019：クラフク(ポーランド)
- ・実施日時；①2019年11月7日(nutritionDay)、②2019年2月13日(WG会議)、③2019年9月1日(ESPEN2019会期中)
- ・対象者；①会員施設、②③WGメンバー

(5)栄養サポートチーム(NST)の普及と質の向上に関する事業

①事業名：NST医師教育セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容；栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師を対象としセミナーを開催した。本セミナーは、日本外科代謝栄養学会ならびに日本静脈経腸栄養学会の共催にて開催されるもので、栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の10時間以上の研修に該当する。日本外科代謝栄養学会理事長 土岐祐一郎・日本静脈経腸栄養学会理事長 東口高志・日本外科代謝栄養学会第56回学術集会会長 小谷穰治先生同意の下に同学術集会中に開催された。
- ・実施場所；神戸国際会議場
- ・実施日時；2019年7月5日～6日
- ・対象者；会員および非会員(出席74名)

②事業名：TNT研修会開催事業(TNT委員会)

- ・内容；栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師を対象とし、研修会(スクール・ワークショップ形式)を開催した。さらに、TNTの在り方、開催方法などを検討した。
- ・実施場所；①北海道、東北、首都圏、関東甲信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の各地区にて15回研修会を開催した。②品川(AP東京八重洲通り)
- ・実施日時；

①地区名	開催日程	会場(988名参加)
関東甲信越地区	5月11日～12日	千葉大学医学部附属病院(66)
九州地区(1)	5月18日～19日	聖マリア学院大学(72)
東北地区	6月15日～16日	東北医科薬科大学福室キャンパス(64)
東海地区(1)	6月29日～30日	藤田医科大学(70)
四国地区	7月6日～7日	高知大学医学部(36)
首都圏地区(1)	7月27日～28日	帝京大学医学部(73)
近畿地区(1)	8月17日～18日	ニプロiMEP(88)
首都圏地区(2)	9月21日～22日	帝京大学医学部(78)
北海道地区	9月28日～29日	札幌医科大学(48)
中国地区	10月5日～6日	川崎医療福祉大学(59)
北陸地区	10月13日～14日	金沢大学 医学部(46)
東海地区(2)	11月2日～3日	藤田医科大学(52)
近畿地区(2)	11月9日～10日	ニプロiMEP(90)
九州地区(2)	12月14日～15日	聖マリア学院大学(70)
首都圏地区(3)	12月21日～22日	北里大学白金キャンパス(76)

②2020年2月7日(委員会)
- ・対象者；会員および非会員

③事業名：医師・歯科医師セミナー実施計画事業(医師・歯科医師セミナーWG)

- ・内容；新たな医師・歯科医師セミナーの実施のため、同セミナー用のテキストの作成について著者候補者・講師候補者の選定と作成過程の検討を行った。
- ・実施場所；東京(学会事務局)
- ・実施日時；2019年9月16日(WG会議)
- ・対象者；WGメンバー、TNT委員長、教育委員長

④事業名：NST稼働施設認定事業(NST委員会)

- ・内容；NST活動が一定の基準を満たしている施設を書類審査後、認定し公開する。
- ・実施場所；①②東京(学会事務局)
- ・実施日時；①2019年10月18日(予備審査)、②2019年10月27日(委員会・申請書類審査)
- ・申請期間等；2019年9月2日～9月30日(NST稼働施設新規・更新申請受付)、  
2020年2月26日(第7回定時社員総会時に審査結果公表)
- ・対象施設；NST立ち上げ宣言を行っている施設で、NST稼働施設への申請施設(新規・更新)

⑤事業名：NST施設登録情報提供事業(NST委員会)

- ・内容：国内でNSTによる活動を始めた施設を学会のデータベースに登録し(「NST立ち上げ宣言」を行った施設の登録)、活動にあたって必要な情報の提供とチームによる活動を始める前の準備をしている会員にも情報を提供できるようにメーリングリストを運用した。また、広報WGと連携しNST委員会ホームページのリニューアルに向けての検討を開始した。
- ・実施場所：NST委員会ホームページ上で登録
- ・実施日時：随時
- ・対象施設：会員が所属する医療施設

⑥事業名：NSTフォーラム開催事業(NST委員会)

- ・内容：学術集会開催期間に各医療機関の診療におけるNSTの貢献内容を討議し、各施設の活動の質を向上維持することに寄与することを目的としたフォーラムの開催と準備を行った。
  - 1) 2019年NSTフォーラムは第一部：特別講演(厚生労働省)、第二部：パネルディスカッション「NST加算について今一度考える H30年度改定を受けて」のテーマのもと参加者に対してさらなるNST活動活性化への示唆を提示した。
  - 2) 2020年NSTフォーラムの検討を行い、テーマとして「極めよう！NSTの進むべき道」と定め質の担保された目指すべきNST活動を提示することにより、NST稼働施設の増加、NST活動に対する評価(診療報酬)の向上を目指すための方策を検討した。
- ・実施場所：①②品川(グランドプリンスホテル新高輪)、③東京(学会事務局)
- ・実施日時：①2019年2月13日(委員会)、②2019年2月15日(NSTフォーラム)、③2019年10月27日(委員会)
- ・対象者：①③委員会委員、②学術集会参加者

⑦事業名：NST稼働認定施設アンケート(NST委員会)

- ・内容：NST活動の労務量を明らかにし、診療報酬改定のための根拠の一つとすべくNST稼働認定施設に対してアンケート調査を行った。
- ・実施場所：NST稼働認定施設を対象にメールアンケート
- ・実施日時：2019年7月
- ・対象者：NST稼働認定施設各担当者

(6)研究の奨励と優秀な業績の表彰

①事業名：研究推進事業(記念AWARD選考WG：小越章平記念Best Paper in The Year選考)

- ・内容：1) 受賞講演  
下記の2018年小越章平記念 Best Paper in The Year受賞者に対し、第34回学術集会にて受賞講演を開催した。  
高木弘誠、ほか(岡山大学病院 肝胆膵外科)  
「膵頭十二指腸切除術におけるERAS(Enhanced recovery after surgery)の有効性に関するランダム化比較試験」  
「Effect of an enhanced recovery after surgery protocol in patients undergoing pancreaticoduodenectomy: A randomized controlled trial」(CLINICAL NUTRITION)

館 佳彦、ほか(藤田医科大学坂文種報徳會病院 消化器内科)

「慢性肝疾患患者における骨格筋脂肪化の肝発癌への影響」

「Skeletal muscle fat deposition is associated with hepatocellular carcinoma development in patients with chronic liver disease」(Nutrition)

・実施場所；品川(国際館パミール)

・実施日時；2019年2月15日

・対象者；会員

・内容；2)賞の選考

選考委員会選考基準にしたがい、下記の受賞者1名を決定した。受賞者には第35回学術集会(2020年)にて、受賞講演が予定されている。

奥川喜永(三重大学 消化管・小児外科学講座)

「Circulating miR-203 derived from metastatic tissues promotes myopenia in colorectal cancer patients」

・実施場所；①機関誌およびホームページ(募集情報掲載)、②メール審議

・実施日時；①2019年9月1日～9月28日(公募)、②2019年11月(選考WG)

・対象者；①会員、②WGメンバー

## ②事業名：研究推進事業(フェローシップ選考WG)

・内容；1)受賞講演

下記に示す2018年度のフェローシップ賞の受賞者に対し、第34回学術集会にて受賞講演を開催し、受賞者に賞を授与した。

西岡心大(長崎リハビリテーション病院 法人本部口のリハ推進室)

「回復期脳卒中患者におけるMNA-SFおよびGNRIの併存的・予測的妥当性の検証」

・実施場所；品川(グランドプリンスホテル新高輪)

・実施日時；2019年2月15日(受賞講演)

・対象者；会員

・内容；2)賞の選考

フェローシップ賞へ申請のあった代謝栄養に関わる研究から9演題を採択し、第34回学術集会にて報告いただき、最終的な1演題を選定した。受賞者には第35回学術集会(2020年)にて、受賞講演が予定されている。

畠山淳司(横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部)

「滅菌密閉型容器使用下での経腸栄養持続投与時の細菌汚染の検証：前向き介入研究」

・実施場所；①第34回学術集会ホームページ上、②③品川(グランドプリンスホテル新高輪)

・実施日時；①2018年6月20日～8月14日

②2019年2月14日(委員会・選考会議)

③2019年2月14日(応募者セッション)

・対象者；①②WGメンバー、③会員

## ③事業名：研究推進事業(学術AWARD選考WG：スカラシップ賞選考)



- ・内 容 ; 1) 受賞講演  
 下記のJEFFスカラシップ賞受賞者に対し、第34回学術集会にて受賞者による研究成果の講演を開催した。  
 受賞者名 : 佐藤由美(千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部)  
 「母体の腸内細菌叢と児の出生時の発育状態との関連性」  
 受賞者名 : Watkins彩子(東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻)  
 「低糖質高脂肪食の脂質の種類が宿主の免疫細胞やがんに与える影響」
- ・実施場所 ; 品川(国際館パミール)
- ・実施日時 ; 2019年2月15日
- ・対象者 ; 会員
- ・内 容 ; 2) 賞の選考  
 選考に際し学術AWARD選考WGを開催し、審査の結果1名の受賞を決定した。2020年度総会・学術評議員会時の表彰式での受賞が予定されている。なお、2019年度選考から受賞講演は執り行わないことになった。  
 受賞者名 : 田中拓樹(福岡青洲会病院 リハビリテーション部)  
 「回復期リハビリテーション病棟における高齢大腿骨近位部骨折術後患者の必要エネルギーを推定する」
- ・実施場所 ; 学会ホームページ(募集情報掲載)
- ・実施日時 ; 2019年9月1日~9月30日(公募)
- ・対象者 ; 会員(公募)、WGメンバー(選考)

④事業名 : 研究推進事業(学術AWARD選考WG : YOUNG INVESTIGATOR AWARD選考)

- ・内 容 ; 1) 受賞講演  
 2018年度受賞選考はいずれの申請も選考基準に達していなかったため、見送ることになった。
- ・内 容 ; 2) 賞の選考  
 選考に際し学術AWARD選考WGを開催し、審査の結果、3名の受賞を決定した。2020年度総会・学術評議員会時の表彰式での受賞が予定されている。なお、2019年度選考から受賞講演は執り行わないことになった。  
 受賞者① : 瀬部真由(徳島大学大学院 代謝栄養学分野)  
 タイトル : 脂質の過剰摂取は関節リウマチ病態の増悪・骨格筋量の減少を引き起こす  
 受賞者② : 古屋宏章(昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門)  
 タイトル : 新規格栄養チューブ(ISO 80369-3)における細菌汚染の経時的変化の検証  
 受賞者③ : 大原雄希(札幌医科大学附属病院 薬剤部)  
 タイトル : ポリファーマシーが経口摂取量に及ぼす影響
- ・実施場所 ; 学会ホームページ(公募情報掲載)
- ・実施日時 ; 2019年9月1日~9月30日(公募)
- ・対象者 ; 会員(公募)、WGメンバー(選考)

⑤事業名 : 研究推進事業(学術AWARD選考WG : YOUNG DOCTORS AWARD選考)

- ・内 容 ; 1) 受賞講演  
2018年度受賞選考は応募がなかったため見送ることとなった。
- ・内 容 ; 2) 賞の選考  
2019年9月1日から9月30日までの募集期間において4名からの応募があり、選考に際し学術AWARD選考WGを開催し、審査の結果、3名の受賞者を決定した。  
受賞者①：大邊寛幸(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学分野)  
タイトル：重症頭部外傷患者に対する早期経腸栄養の効果：DPCデータを用いた傾向スコアマッチング研究  
受賞者②：大槻郁人(札幌医科大学附属病院 麻酔科)  
タイトル：低栄養リスクを有する急性期脳卒中患者に対する栄養管理の有効性についての検討ーランダム化比較試験ー  
受賞者③：匂坂正孝(医療法人匂坂会サキサカ病院)  
タイトル：誤嚥性肺炎や消化管合併症を有する高齢者に対する安全な経腸栄養プロトコル確立に向けた検討
- ・実施場所 ; ①学会ホームページ(募集情報掲載)
- ・実施日時 ; 2019年9月1日～9月30日(公募)
- ・対象者 ; 会員(公募)、WGメンバー(選考)

⑥事業名：学会への功績に対する表彰事業(記念AWARD選考WG：大柳治正記念学術振興アワード選考)

- ・内 容 ; 1) 受賞講演  
下記の2018年大柳治正記念学術振興アワード受賞者に対し、第34回学術集会にて受賞講演を開催した。また、2名の関連講演を開催した。  
受賞講演：東海林徹(日新薬品株式会社 学術情報部)  
「注射剤配合変化予測と輸液フィルターの有用性」  
関連講演：倉本敬二(国際医療福祉大学薬学部)  
「輸液管理のリスクマネジメント」  
関連講演：野崎 歩(京都桂病院)  
「注射剤を安全に使うために」
- ・実施場所 ; 品川(国際館パミール)
- ・実施日時 ; 2019年2月15日
- ・対象者 ; 会員、WGメンバー
- ・内 容 ; 2) 賞の選考  
選考委員会選考基準にしたがい、下記の受賞者1名を決定した。また、2名の関連講演を行う者を決定した。受賞者および関連講演者には、第35回学術集会(2020年)において、受賞講演および関連講演が予定されている。  
受賞講演：入山圭二(長島中央病院)  
「脂肪乳剤粒子のアポリポ蛋白質結合機構と血管内代謝」  
関連講演：宇佐美眞(甲南女子大学 医療栄養学部 医療栄養学科)

### 「脂肪酸投与の意義」

関連講演：福島恵造(神戸学院大学 薬学部 臨床薬物動態学研究室)

### 「脂肪乳剤の個別化投与速度設計：母集団薬物動態解析によるmodeling & simulation」

- ・実施場所；選考委員会(メール審議)
- ・実施日時；2019年9月(選考WG)
- ・対象者；WGメンバー

## (7) 栄養学に関する情報や指針の提供

### ①事業名：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する情報提供事業(広報WG)

- ・内容；本学会のWEBサイトの運用を通じて、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する広報活動を行うと共に国内外の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連した最新の情報を提供した。
- ・実施場所；①学会ホームページ、②メール審議
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①会員および非会員、②WGメンバー

### ②事業名：JSPEN「Newsletter」発行事業(広報WG)

- ・内容；学術集会、各種セミナーの告知、学会からの連絡事項などを会員に到達するための「Newsletter」の発行準備を行った。創刊号は、理事長挨拶、学会名称変更等の重要なお知らせ、学術集会大会長挨拶、JSPEN2020の聴きどころなどの掲載内容を企画した。
- ・実施場所；①メール審議
- ・対象者；①WGメンバー

### ③事業名：栄養学に関わる用語解説事業(用語委員会)

- ・内容；1)臨床栄養代謝学で必要な用語を正しく理解して適切に用いるための解説を行うことを目的に、委員会で協議の上で解説する用語を決め、原稿を集めた。2019年発行の学会誌JSPENから掲載を開始した。  
2)日本医学会用語委員会へ分科会として出席した。遺伝学用語改定に関するワーキンググループのアンケート結果報告、日本医学会医学用語辞典web版メンテナンス報告、「奇形」を含む医学用語置き換えワーキンググループの報告などがあつた。
- ・実施場所；①品川(グラントプリンスホテル新高輪)、②メール審議、③学会誌、④東京(日本医師会)
- ・実施日時；①2019年2月13日(委員会)、②随時、③学会ホームページ、④2019年12月17日
- ・対象者；①②委員会委員、②③会員および非会員(臨床栄養に携わる全ての国民への情報提供)、④用語委員会委員長

## (8) 社会に対する栄養に関する情報提供と啓発

①事業名：ガイドライン作成事業(ガイドライン委員会)

- ・内容：ガイドライン(癌)の作成において、RADE systemで推奨を作成するClinical Question(CQ)のテーマを3~6個に絞り、narrativeで作成するテーマを作成し、パネル班の人員を確定した。この人員をGRADE班とNarrative班に分割し、それぞれでCQおよびテーマを策定中である。
- ・実施場所：①神戸(神戸大学医学部附属病院)、②Slack審議、③GRADE班のCQ作成とNarrative班のテーマ作成
- ・実施日時：①2019年11月21日(委員会)、②③随時
- ・対象者：委員会委員

②事業名：JSPEN「コンセンサス」作成事業(臨床栄養コンセンサス検討委員会)

- ・内容：NST専門療法士の上部資格となる臨床栄養代謝専門療法士認定制度が新設された。本制度は9領域から1領域のみを選択し、認定申請する専門性を重視した認定制度となるが、9領域に対応するテキスト(コンセンサス)がないため、“コンセンサスのある使い勝手がよいもの”を発行することを目標として、各9領域のWTを組織し作業を進めている。
- ・実施場所：①名古屋(安保ホール)、②メール
- ・実施日時：①2019年6月16日(委員会)、②随時
- ・対象者：委員会委員、9領域WTメンバー

③事業名：9領域コンセンサス作成事業(9領域WT)

- ・内容：WT 001 がん：様々ながん診療におけるコンセンサスを、CQに対する現時点でのエビデンスという形でまとめるためのCQの抽出を進めた
- WT 002 肺疾患：呼吸器疾患全般の栄養管理、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺癌、肺感染症、間質性肺炎、誤嚥性肺炎、周術期、肺移植に関するCQが提案され論文レビュー作業を進めた。
- WT 003 肝疾患：肝疾患に関する臨床栄養のコンセンサス作成に向け、CQを選定し、各CQに関する参考論文を文献検索し、エビデンスの集積作業を進めた。
- WT 004 腎疾患：腎疾患に関するコンセンサスの作成に向けCQについて検討した。
- WT 005 リハビリテーション：リハビリテーション分野に関する栄養管理の有効性について、文献などの情報を収集しCQを作成中、CQのエビデンスレベルなどについて審議を進めた。
- WT 006 在宅：在宅医療のコンセンサスの作成に向けて、CQの検討を行った。
- WT 007 小児：小児医療のコンセンサスの作成に向けて、CQの検討を行った。
- WT 008 摂食・嚥下：摂食・嚥下のコンセンサスの作成に向けて、CQの検討を行った。
- WT 009 周術期・救急集中治療：周術期・救急集中治療のコンセンサスの作成に向けて、CQの集積作業の準備を行った。
- ・実施場所：所定メーリングリストによる審議
- ・実施日時：2019年6月～ 随時
- ・対象者：委員会委員、9領域WTメンバー

(9)医療政策に関する提言

①事業名：2020年度診療報酬改定に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容；2020年度診療報酬改定に関して、委員会での討議、および会員へ情報の提供を行った。  
2020年度診療報酬改定においては、前期からの厚生労働省とのコンタクトを継続して行い、事務次官と保険局長と面談した。さらに、栄養関連の医療政策に関する要望として、関係委員会と検討し対応した。また、外保連を通じて情報収集、アンケートへ返答を行った。
- ・実施場所；東京(外保連事務局、厚生労働省)
- ・実施日時；2019年1月～12月(外保連各委員会複数回)、2019年8月(厚生労働事務次官、厚生労働省保険局局長面談)
- ・対象者；行政官、静脈経腸経口栄養および臨床栄養に関する団体、委員会委員

(10) 認定に関する事業

①事業名：代謝栄養の専門医師育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1) 認定医・認定歯科医認定試験問題の作成と認定試験を実施した。  
2) 認定医・指導医(更新も含む)、認定歯科医・暫定認定歯科医の審査を実施した。
- ・実施場所；①大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)、  
②京都(京都国際会議場)、③名古屋(AP名古屋. 名駅)
- ・実施日時；①第1回：2019年6月16日、第2回：6月30日(作成)、第3回：7月14日(選択)、第4回：8月4日(選択)、第5回：8月18日(選択)、②11月3日(認定試験)、③12月12日(認定試験合否判定会議)、12月～1月(認定・資格制度委員会・指導医・認定医更新申請書類審査)、①12月15日(認定・資格制度委員会：指導医新規・更新、認定医更新申請書類審査)
- ・申請期間等；2019年7月1日～31日(認定医・認定歯科医新規申請受付)、8月1日～9月30日(指導医新規申請受付および認定医・指導医更新受付)、12月18日(認定試験合格者発表)
- ・対象者；委員会委員、認定医・指導医申請者(新規・更新)、終身認定対象者、認定歯科医申請者(新規)

②事業名：NST専門療法士育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1) 専門療法士認定試験問題の作成と認定試験を実施した。  
2) 専門療法士更新の審査を実施した。
- ・実施場所；①大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)、  
②京都(京都国際会議場)、③名古屋(AP名古屋. 名駅)
- ・実施日時；①第1回：2019年6月16日、第2回：6月30日(作成)、第3回：7月14日(選択)、第4回：8月4日(選択)、第5回：8月18日(選択)、②11月3日(認定試験)、③12月12日(認定試験合否判定会議)、①12月15日(認定・資格制度委員会：専門療法士合格者決定・更新申請審査)
- ・申請期間等；2019年6月10日～7月31日(専門療法士新規・書類審査合格者・未更新者更新申請受付)、  
2019年6月10日～7月31日(専門療法士更新申請受付)、12月18日(合格者発表)
- ・対象者；委員会委員、専門療法士申請者(新規・更新)

③事業名：NST専門療法士育成、施設認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)専門療法士育成のための施設認定審査(新規・更新)を実施した。  
2)学会の認める全国学会・地方会・研究会に関する審査を実施した。
- ・実施場所；大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)
- ・実施日時；2019年12月15日(認定制度委員会・申請書類審査)
- ・申請期間等；2019年10月1日～10月31日(NST認定教育施設新規・更新申請受付)、  
通年随時～2019年10月31日(学会の認める全国学会・地方会・研究会申請受付)、  
2020年2月26日(第7回定時社員総会時に審査結果公表)
- ・対象施設；認定教育施設への申請施設(新規・更新)、学会の認める全国学会・地方会・研究会申請  
団体(新規)

④事業名：暫定臨床栄養代謝専門療法士認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)専門療法士の上部資格となる臨床栄養代謝専門療法士制度が発足し、暫定申請期間に  
おける審査を実施した。臨床栄養代謝専門療法士認定制度は、NST専門療法士の上部資格  
として、9つの専門領域(※1)から自ら専門としたい1領域を選択し、取得申請を行う制度  
である。  
(※1)1)がん専門療法士、2)肺疾患専門療法士、3)肝疾患専門療法士、4)腎疾患専門  
療法士、5)リハビリテーション専門療法士、6)在宅専門療法士、7)小児領域専  
門療法士、8)摂食嚥下専門療法士、9)周術期・救急集中治療専門療法士
- ・実施場所；大阪(ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター)
- ・実施日時；2019年12月15日(認定制度委員会・申請書類審査)
- ・申請期間等；2019年5月20日～7月31日(暫定臨床栄養代謝専門療法士新規申請受付)、2020年2月26日  
(第7回定時社員総会時に審査結果公表)
- ・対象者；専門療法士更新認定者

⑤事業名：NST専門療法士更新必須セミナー開催事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；NST専門療法士認定者のさらなる質の向上のために、NST専門療法士を対象とし、資格更新  
のためのセミナーを開催した。
- ・実施場所；第1回：品川、第2回：京都、第3回：東京、第4回：大阪
- ・実施日時；第1回：2019年2月14日、第2回：2019年4月28日、  
第3回：2019年5月19日、第4回：2019年10月20日
- ・対象者；NST専門療法士(1,966名[第1回：707名、第2回：466名、第3回：394名、第4回：399名])

(11)教育に関する事業

①事業名：NST専門療法士受験必須セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容；臨床現場での栄養管理の基本的事項、適切な栄養療法の普及と質の向上のために、非会員  
も対象とし、多職種向けのセミナーを開催した。
- ・実施場所；第1回：品川、第2回：東京、第3回：博多、第4回：大阪
- ・実施日時；第1回：2019年2月15日～16日、第2回：2019年5月18日～19日

第3回：2019年6月22日～23日、第4回：2019年9月21日～22日

・対象者：会員および非会員(1,696名[第1回：705名、第2回：373名、第3回：386名、第4回：232名])

②事業名：JSPEN栄養マスターコース開催事業(教育委員会)

・内容：臨床栄養に高いレベルで更に精通した人材の育成を目的とする実践的な知識の学習(主に実際の症例検討を参考に)を目指すコースを開催した。

・実施場所：第5回：名古屋(東海東京証券(株)オルクドール・サロン)

第6回：名古屋(東海東京証券(株)オルクドール・サロン)

・実施日時：第5回：2019年3月31日

第6回：2019年10月6日

・対象者：会員(144名[第5回：74名、第6回：70名])

③事業名：LLL(Life Long Learning)開催事業(教育委員会：LLL WG)

・内容：LLLライブコースの開催

ESPENの教育ツールを用いて、栄養管理に関するAdvanced Courseの教育のために、講習会を開催した。

・実施場所：①品川(グラントプリンスホテル新高輪)

②第16回：東京(北里大学白金キャンパス)

③第17回：名古屋(東海東京証券(株)オルクドール・サロン)

・実施日時：①2019年2月15日

②第16回：2019年3月16日～17日

③第17回：2019年8月3日～4日

・対象者：①WGメンバー、②③会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)(218名[第16回：90名、第17回：128名])

④事業名：LLL(Life Long Learning)事前学習会開催事業(教育委員会、薬剤師部会)

・内容：LLL事前学習会の開催

ESPENの教育ツールLLLの自己学習を補助するため、事前学習会を開催した。

・実施場所：東京(北里大学白金キャンパス)

・実施日時：第1コース目：2019年1月12日、2月9日、3月9日

第2コース目：2019年6月8日、6月29日、7月27日

・対象者：会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)(51名[1コース目出席計32名、2コース目出席計19名])

⑤事業名：NSTベーシックコース開催事業(教育委員会、職能別活動検討委員会)

・内容：より適切な栄養療法の実践のために、どうしても知っておきたい基本的な部分を確認して知識を深めるべく、非会員も対象とし、多種職メディカルスタッフ向けのセミナーを開催した。本コースは、これまでの栄養士・管理栄養士、看護師、薬剤師部会のトレーニングセミナーの後継となり、第2回は薬剤師部会が企画主担当となり開催した。

- ・実施場所；第2回：AP東京八重洲通り
- ・実施日時；第2回：2019年11月17日
- ・対象者；会員および非会員(90名)

## (12) その他前条の目的を達成するために必要な事業

### ①事業名：総務統括(総務委員会・財務委員会・将来構想委員会)

- ・内容；1)事務局管理・運営に関する業務を行った。
- 2)本会の健全な財務運営を行った。
- 3)本会の将来的な事業などの構想を行った。

#### ○総務委員会

- ・内容；1)事務局管理・運営に関する業務を行った。
- 2)適正な会員管理に向けてWEBシステムの機能追加を進めた。
- 3)本会の健全な財務運営や会員サービス向上のため、事務局機能の向上に努めた。

・実施場所；メール審議

・実施日時；随時

・対象者；委員会委員

#### ○財務委員会

・内容；本会の健全な財務運営を行った。

・実施場所；メール審議

・実施日時；随時

・対象者；委員会委員

#### ○将来構想委員会

・内容；1)当会の将来に向けての改善点の洗い出しと共有の認識を持つことを目的として、会議を行い、理事会へ以下の提言を行った。「2019年中に暫定臨床栄養代謝専門療法士の認定受付を行うこと」

2)臨床栄養代謝専門療法士認定制度の設立(総務委員会、教育委員会と協力)

NSTのより専門的な活動を推進するべく、将来構想委員会・総務委員会・教育委員会を主体として臨床栄養代謝専門療法士制度設立のタスクフォースを組織し、認定制度を確立して、2019年7月末を締め切りとして暫定臨床栄養代謝専門療法士の認定申請を受け付けた。2020年2月までに認定者を決定する予定である。

・実施場所；①品川(グランドプリンスホテル新高輪)

②東京(学会事務局)

・実施日時；①2019年2月13日(委員会)

②2019年5月20日～7月31日(申請期間)

・対象者；①委員会委員

②NST専門療法士の更新経験のある会員(申請者426名)



②事業名：規約整備事業(規約委員会)

- ・内容；1)学会名称変更に伴う諸規定の変更箇所の確認を行った。  
2)各委員会内規および運営規則の内容評価を進めた。
- ・実施場所；①品川(グランドプリンスホテル新高輪)、②事務局、メール審議
- ・実施日時；①2019年2月13日(委員会)、②随時
- ・対象者；委員会委員

③事業名：代議員・学術評議員選考にかかわる事業(代議員・学術評議員選考WG)

- ・内容；選出規定に従い、代議員(新規・再任)、学術評議員申請受付を実施した。また、理事会推薦による代議員審査申請制度が新設され定款施行細則第22条4項に従い公示した。  
2019年の申請について、選考WGを開催した。
- ・実施場所；①②③学会ホームページ(申請受付)、④学会事務局(WG会議)
- ・実施日時；①代議員：2019年9月2日～9月30日(申請期間)  
②理事会推薦代議員：2019年9月1日～10月11日(申請期間)  
③学術評議員：2019年10月1日～11月30日(申請期間)、  
④2020年1月6日(選考WG会議)
- ・対象者；会員

④事業名：学会のコンプライアンスに関する事業(倫理・利益相反委員会)

- ・内容；学会の社会的責任を果たすことを目的として、会員(特に役員・代議員・学術評議員)へのコンプライアンスの指導を含めた活動を行い、会員のコンプライアンス違反が発生した場合も対応も想定した。日本医学会主催の第5回研究倫理教育研修会に参加した。
- ・実施場所；①品川(国際館パミール)、②文京区(日本医師会館)
- ・実施日時；①2019年2月13日(委員会)、②2019年5月30日(研究倫理教育研修会)
- ・対象者；①委員会委員、②委員長

⑤事業名：利益相反に関する確認(倫理・利益相反委員会)

- ・内容；役員、発表者のCOI申告に関する確認を行った。また、COI指針、細則などの確認を進めた。
- ・実施場所；メール審議
- ・実施日時；随時
- ・対象者；会員、委員会委員

⑥事業名：新支部制度への移行(支部統括委員会)

- ・内容；支部区分と支部世話人会組織の見直しと再編成のため支部長・世話人会への説明と協力をお願いした。一部の支部区分を除き2020年から8支部区分体制へ移行し、円滑な移行に向けて引き続き支援を行う。
- ・実施場所；神戸国際会議場
- ・実施日時；2019年7月4日(支部長を含む委員会)
- ・対象者；支部長・委員会委員

#### IV. 社員総会の開催状況

##### 第6回定時社員総会

日 時 ; 2019年2月13日 16 : 00~18 : 30、18:30~19 : 00 (各賞の表彰式)

場 所 ; グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3階 慶雲+白雲

社員総数 ; 237名

出席者数 ; 233名 (委任状による出席18を含む)

- 内 容 ;
- 1 2018年度事業報告および決算報告の件 : 審議の結果、可決承認
  - 2 2019年度事業計画および予算案の件 : 審議の結果、可決承認
  - 3 第37回学術集会会長選出の件 : 審議の結果、可決承認
  - 4 選挙理事選出の件 : 審議の結果、可決承認
  - 5 再任理事信任の件 : 審議の結果、可決承認
  - 6 推薦理事選出の件 : 審議の結果、可決承認
  - 7 監事選出の件 : 審議の結果、可決承認

#### V. 理事会・その他の役員会の開催状況

第1回定例理事会	2019年2月13日	グランドプリンスホテル新高輪	国際館パミール	1階	暁光(品川)
第2回定例理事会	2019年2月14日	グランドプリンスホテル新高輪	国際館パミール	2階	若葉(品川)
第3回定例理事会	2019年5月17日	東海東京証券	オルクドール・サロン(名古屋)		
第4回定例理事会	2019年8月2日	東海東京証券	オルクドール・サロン(名古屋)		
第5回定例理事会	2019年11月8日	東海東京証券	オルクドール・サロン(名古屋)		

以上